



令和3年度 安全促進フォーラム／5ページ



磐田第3団 70周年に感謝／11ページ



人物訪問 第2回／8ページ



静岡第14団 天城登山プロジェクト／7ページ

## CONTENTS

富士スカウト顕彰を開催	2	いつも元気だっ!ビーバーだより	12
令和3年度富士章スカウト喜びのことば	3	カブ通信	12
令和3年度 後期の進級者を紹介	4	ボーイ通信	13
令和3年度 安全促進フォーラム	5	指導者だより	13
ユースチーム静岡 新聞始めました!	6	令和3年度 トレーナー研究集会	14
静岡14団ベンチャー隊 天城山登山プロジェクト	7	マスコミコーナー	15
Shigeru Matsudaの人物訪問 第2回	8~9	おしらせコーナー	16
熱海第11団にスカウトハウス誕生	10		
磐田第3団 70周年に感謝	11		

# 富士スカウト章 受章おめでとうございます



一般社団法人日本ボーイスカウト  
静岡県連盟 連盟長  
川勝 平太

最高位の富士スカウト章を受章された9名の皆さん、誠におめでとうございます。

富士スカウト章の記章には、富士山の頂が描かれています。

富士山の「富」の字は物の豊さを、「士」は徳のある人材を意味し、富士スカウトは、正に「豊かで徳のある」スカウトであります。

今回の受章を機に、本県の青少年の模範となり、今後さらに多くの経験を積み、本県の未来を担う才徳兼備の「有徳の人」として御活躍されることを心から願っています。

## 「富士スカウト顕彰」を開催

日時:3月31日(木)

2021(令和3)年に富士スカウト章を取得した132人のスカウトの代表による秋篠宮皇嗣殿下とのご接見、および首相官邸と文部科学省へ表敬訪問しました。秋篠宮皇嗣殿下とのご接見は昨年に続き、オンラインでの実施となりました。富士スカウトたち一人ひとりが、自身が挑戦した社会貢献や高度な野外活動プロジェクトについて殿下へ説明し、殿下からのご質問にお答えするなど貴重な時間を頂きました。首相官邸では、松野内閣官房長官より岸田内閣総理大臣からの励ましのお言葉を頂きました。文部科学省では、末松文部科学大臣から励ましのお言葉を頂きました。表敬訪問先では、スカウト活動に対する今後のさらなる決意の言葉を代表スカウトが述べ、参加スカウト全員で弥栄をお送りしました。



提供:ボーイスカウト日本連盟

# 令和3年度 富士章受章スカウト 喜びのことば

受章者の皆さんおめでとうございます



**岩崎 悠** 沼駿地区 清水町第7団

私はこれまでの19年の半分以上を、ピーパー時代からスカウト活動に携わってきました。そして昨年やっと憧れであり、目的の一つであった富士章を取得することができました。コロナ禍の中、課題をこなすのは困難もありましたが、今となっては本当に嬉しいです。ここまでやってこられたのも、勝又隊長始め関わっていただいた団委員と沼駿地区のスカウト関係者の方々のお陰であり、そして一緒に富士章を目指した仲間の村田優樹さんの存在も大きかったです。この経験を活かし、スカウト活動で学んだ奉仕精神、感謝の気持ちを忘れずに、さらに進んでいくつもりです。今後は自分が少しでも貢献できたらと考えています。これまで挫折もありましたが、続けて来られて本当に良かったです。



**村田 優樹** 沼駿地区 清水町第7団

富士スカウト章の取得は名前が最高峰の山であるように、本当に大変な章でした。中には1年近く時間を要した項目もあり、諦めてしまおうかと考えたこともありましたが、それでもこの活動が続けて来られたのは、隊長、仲間、そして家族の理解と協力によるものです。周りの方々には感謝してもしきれません。本当にありがとうございます。ただ、章を取ることでだけが私の活動のゴールではありません。富士章はあくまでも通過点でありその先の実践に意味があります。この章を取得するために得た経験は今後の活動にも必ず役に立つでしょう。この経験を活かし、さらなる挑戦や、後輩スカウトの指導など、今後もボーイスカウト活動に励みたいと思います。



**神戸 拓海** 沼駿地区 長泉第2団

新型コロナウイルスの影響もあって活動が難しい中でしたが、隊長はじめ多くの指導者、関係者、家族の支えもあって、様々な苦勞を乗り越えて富士章を取得することが出来ました。受験勉強との両立は辛いときもありましたが、ここまで頑張ってきた本当に良かったです。今後もスカウト活動を続けていきたいと思っているので、これをゴールと考えず、この経験を今後のスカウト活動と大学生生活、さらにその先の人生でも生かせるようより一層努力していきたいと思っています。



**東 孝輔** 三島地区 三島第14団

私が富士章を目指したのは、スカウト活動の中でさらに楽しめる一手間を考え実行したい、誰とでもすぐに親しくなれる先輩スカウトがいて、自分もこんな風になりたいと思ったからです。富士章取得に向けて苦労したのは、とにかく時間がなかったことです。時間がない中で、大量の書類作成や技能章を取得するのはとても大変でしたが、それ以上に指導者の方々には色々とお世話になりました。私がこの文章を書けるのも隊長はじめ沢山の方々のサポートのおかげです。今後は、少しでもご恩返しができるように、また自団の後輩スカウトたちに継承していけるようにローバースカウトになっても精進していきたいです。



**加藤 瑞樹** 三島地区 三島第14団

私が富士章を目指したきっかけは、共に挑戦する仲間がいたからです。おかげで課題の取り組みがつらいと感じることはなく、むしろ楽しく活動することができました。挑戦中のキャンプでは、フライが風で飛んでしまったり、書類のデータが消えてしまうなどのトラブルもありましたが多くの教訓を得ることができました。取得することができた背景には、陰で支えてくださった隊長方や見守ってくれた両親の協力があります。課題の達成に向けたサポートや集会への送り迎えがあれば成し遂げることはできませんでした。高校卒業後もボーイスカウトで得た自主性やボランティア精神を日常生活に生かしていきたいと思えます。



**酒井 舞華** 三島地区 三島第5団

進級課程が新しくなり、四角い富士章が丸くなりました。しかし、角が取れたことにより富士章取得が易くなった訳ではなく、以前より、リーダーシップやスカウトスキルが求められるようになったのではないかと感じます。私はB.Pにちかひをたててから、ずっと憧れ続けていた富士章を今、左胸に付けています。これからは、記章が単なる形で終わる事なく、富士章スカウトの名に恥じぬよう、奉仕の精神と社会の一員としての責任を持ち続けながら、後輩スカウトの手本になように行動します。そして、スカウト活動を楽しむことを忘れないようにしたいです。



**諏訪部 柚** 三島地区 三島第5団

ベンチャースカウト活動のほぼ2年間、新型コロナウイルスの影響により活動が思うようにできなかったこともありましたが、しかし、そんな中でもプロジェクトや奉仕活動、24WSJの参加など様々な経験をすることができました。この度、名誉ある富士章を取得できたのは、指導者や家族の支えと共に、一緒に活動する仲間にも恵まれていた環境があったからです。今までお世話になった皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。これからは感謝の気持ちを忘れず、恩返しができるように、自身をより成長させ、スカウト活動に励んでいきたいと思えます。



**島崎 睦巳** 浜松地区 浜松第12団

富士スカウト章を取得する過程に於いて学ぶことはどれも自分の糧になるものだったと心から感じています。ただ楽しく活動していたピーバースカウトの頃から約12年、これまでの活動の中で見えるものがとても増えたことを感じます。これからは次の世代の役に立てるよう努めていきたいと思えます。取得にあたり困難なこともありましたが、取得できたことは、家族や指導者の皆様、友人にたくさん支えて頂いたおかげです。感謝申し上げます。



**石野 由明** 浜松地区 浜松第12団

今回、富士スカウト章を受賞する事ができたのは、ひとえに団の方々をはじめ、様々な支えがあったからです。ありがとうございます。幼い頃から、この章を取得することが目標であり、ベンチャー上進時に、目標取得時期を高校2年生までと決めました。コロナ禍で活動がうまくいかない事も多く、焦る気持ちも多くなりましたが、なんとか達成することができ、嬉しく思います。富士章を取得する為には、各部門において、たくさんの方に挑戦することが最も近道だと考えます。それぞれ目標時期を定め、逆算して、いつまでに何をすれば良いか考えれば、富士章は近づいてくるはずですが、今の自分に満足する事なく、これからも自己鍛錬を続けていきます。



## 富士スカウト章に向かって、がんばろう !! 本年度後期の進級者を紹介致します

ボーイスカウトの進歩制度とは、スカウトの成長の目標となる課目を設定し、進級というステップで、スカウトが発達段階に応じて成長できるようにした制度です。ボーイスカウト隊に入隊するとまず初級スカウト章を取得して段階的に進級を進めます。

- 1級スカウト章**は高度なスカウト技能や、宿泊を伴うプロジェクト運営、地域への貢献や後輩への指導ができます。
- 菊スカウト章**は高度なスカウト技能の他、ボーイスカウト隊の中の活動で、ボランティア活動や野外活動での更なるスキルが認められたスカウトです。
- 隼スカウト章**はスカウト技能を十分に役立てることができ、ジュニアリーダーとしての基本的な隊運営の知識を有し、健全な体と精神を身につけたスカウトです。
- 富士スカウト章**とは、ボーイスカウト日本連盟のベンチャースカウト年代(高校生年代)において最高位のスカウトに与えられる章です。富士スカウト章のキーワードは『リーダーシップ』です。「プロジェクトの計画・実施・報告ができ、奉仕の精神と社会の一員としての責任を持ち、社会貢献を果たせるスカウト」です。



1級スカウト章				菊スカウト章			
名	前	団名	隊	名	前	団名	隊
鈴木	佳奈	浜松第12団	ボーイ隊	仲間	友理恵	沼津第1団	ボーイ隊
内山	早翔	浜松第12団	ボーイ隊	坂口	仁美	清水第19団	ボーイ隊
宮本	悠史	磐田第6団	ボーイ隊	岡田	賢治	清水第19団	ボーイ隊
松浦	悠真	磐田第6団	ボーイ隊	山本	夏羽	静岡第27団	ボーイ隊
安間	紗世	掛川第2団	ボーイ隊	大森	太陽	静岡第27団	ボーイ隊
石川	智裕	掛川第2団	ボーイ隊	原田	和佳	静岡第27団	ボーイ隊
齋木	太壱	掛川第2団	ボーイ隊	神谷	擢弥	静岡第27団	ボーイ隊
豊田	遥矢	掛川第2団	ボーイ隊	富田	千結	静岡第22団	ボーイ隊
海老名	翼	藤枝第7団	ボーイ隊	川井	彩羽	浜松第12団	ベンチャー隊
大須賀	泰	藤枝第7団	ボーイ隊	渡部	豊巴	浜松第24団	ベンチャー隊
鈴木	喜生	藤枝第7団	ボーイ隊	峰尾	俊汰	浜松第19団	ベンチャー隊
手島	侑亮	藤枝第7団	ボーイ隊	鈴木	真央	浜松第30団	ベンチャー隊
待井	直哉	藤枝第7団	ボーイ隊	菅谷	淳尋	浜松第30団	ベンチャー隊
八木	佐和	藤枝第7団	ボーイ隊	徳澄	要	静岡第14団	ベンチャー隊
土屋	未来	大仁第1団	ボーイ隊	佐野	雄一	富士宮第25団	ベンチャー隊
浅利	煌太	大仁第1団	ボーイ隊	佐藤	瞭	長泉第2団	ベンチャー隊
矢田	久和	大仁第1団	ボーイ隊	近藤	春樹	長泉第2団	ベンチャー隊
川口	和弥	三島第5団	ベンチャー隊	<b>隼スカウト章</b>			
遠藤	輝希	三島第5団	ベンチャー隊	名	前	団名	隊
中村	耕介	三島第5団	ベンチャー隊	政木	萌那	浜松第12団	ベンチャー隊
久原	誠仁	三島第3団	ボーイ隊	内藤	恵斗	焼津第5団	ベンチャー隊
野極	璃響	三島第3団	ボーイ隊	森本	蒼空	焼津第5団	ベンチャー隊
齊藤	颯斗	三島第3団	ボーイ隊	野中	奏吾	焼津第5団	ベンチャー隊
				小長谷	壮太	焼津第5団	ベンチャー隊
				大場	臯太郎	静岡第14団	ベンチャー隊
				小森	聡太郎	静岡第14団	ベンチャー隊
				奥村	侑香	浜松第30団	ベンチャー隊
				飯田	哲也	三島第5団	ベンチャー隊

## 令和3年度 安全促進フォーラム

日時: 令和3年12月13日(日) 10:00~16:00 場所: 静岡県青少年会館 大ホール



浜松地区CS担当副コミッショナー 小笠原 妙香

### 『安全』とは

『ボーイスカウトらしい冒険的、挑戦的活動を!』という言葉を目にしますが、それはあくまでも『安全』の上でのこと。今回の研修で前半は裁判事例をもとに、陪審員になったかのような気持ちでグループ討議を行うことで、安全対策への理解がより深まりました。また後半は、実際に報告された事故事例をもとにグループで原因分析を行いました。こちらでもまた、活動中に起こり得るであろう事例のため、より身近に感じてイメージしやすく、グループでの活発な討議を行うことができました。

研修に参加して、効果的な安全対策を行うためには、たくさんの事故事例を冷静に分析し、リスクへの感度を養っておくことが大切だと感じました。また、活動中に起こった事故事例やヒヤリハット事例を指導者間で共有することも必要だと思いました。自身の慢心から、安全に対する意識が時には薄れてしまうこともあると思いますので、地区での定期的な研修が必要だと改めて感じました。『安全』とは、「許容不可能なリスクがないこと」「身体的に危険がなく、楽しめること」とあります(安全ハンドブック参照)。冒険的で魅力的なスカウト活動を行うため、これからはリスク回避のスキル向上に努め、安全に対する意識を高く持っていきたいです。



指導者委員長 志賀 裕人



### 安全促進フォーラムに参加して

富士地区コミッショナー 山本 真一

ボーイスカウト活動が安全という強固な舞台の上で実施されている事は間違い無い事ではありますが、その中であつても発生してしまうリスクに対して、私達がどの様に対応していくのかについて確認できる良い研修でした。

今回学んだ知識を地区の指導者に対して提供し、スカウトや保護者にとって、また、指導者にとっても安全で安心な活動が展開できるようにしていきたいと考えています。



## ユースチーム静岡、 新聞はじめました!

突然ですが、皆さんは「ユースチーム静岡」ってどんな組織かご存じですか?

きっと知っている人より知らない人の方が多いはず!だってコロナ禍の活動が全く出来なかったんですもの…(汗)

ということで、ユースチーム静岡としての活動を盛り上げ、かつもっと多くの人に我々のことを知ってもらうため、広報新聞を発行することにしました!一石二鳥だね!その名も『ユースチームタイムズ』!!!我々の自己紹介から始まり、皆さんのスカウティングに役立つ情報や、ユースチームメンバーの得意分野を生かしたコンテンツ、静岡県内のローバースカウト活動の発信を積極的におこなっています!

そんなユースチーム静岡がお送りする『ユースチームタイムズ』は、静岡県連盟のホームページからご覧いただけます。その他にも、facebookやInstagramの方でも随時活動報告などご覧いただけますので、是非チェックしてみてください!



## ユースチームタイムズ発刊にあたって

女性・ユース活躍委員会 委員 福田 健一

昨年の100周年記念式典のユースメッセージにて、ユースチーム静岡は3つの宣言をしました。それは、

- ① 活動を静岡県内に収めずより多面的に広めていく。
- ② 海外での奉仕や海外派遣など、国境を越えた活動を行うスカウトが増えることを目指す。
- ③ 静岡県内のローバースカウトが、ローバースカウトとして活動し、活躍できる場を作る。

以上の3点です。これらの目標を達成するために、まずは自分達の活動や、メンバーについて詳しく知ってもらおうという思いで、今回「ユースチームタイムズ」を発刊することとなりました。新型コロナウイルス感染症が未だに終息の兆しが見えず、変異株の急速な拡大によりまた対面での活動が難しい状況となってしまいました。

そんな中でも彼らは宣言を実行していこうと、前向きな気持ちで活動しております。



B-Pの言葉に「困難に直面したときほほえみを浮かべ、ツグミが歌うようにステイック トウイット!最後までがんばれ!と自分に言い聞かせよ。そうすればなんにもかもうまくいく」とあります。このプロジェクトを通し、困難を糧に変え、悩みつつも皆で考え、前進していくことを期待しています。

最後に、ユースチームタイムズを通して、ユースチーム静岡が楽しんで活動している姿を、少しでも県内の皆様に知っていただきたいと思います。

## 天城山登山プロジェクト

静岡第14団ベンチャー隊  
隊長 寺田 万友

日時:3月19日(土)~21日(祝)

静岡14団VS隊は3月19日から3月21日にかけて天城山登山プロジェクトを実施しました。河津七滝にキャンプを張り、3月20日に天城トンネル(水生地下駐車場)から八丁池まで往復しました。今回のプロジェクトでは、富士章チャレンジ中の2名のスカウトがそれぞれテーマ設定をして個人プロジェクトとして挑みました。一人は八丁池展望台に上がり、アマチュア無線で交信することを計画しました。冷たい風に吹きさらされながら1時間ほどかけて、静岡県10局、神奈川県1局、東京都1局、そして、最も遠い所では愛知県豊川市の本宮山と交信しました。もう一人は、天城山トレイルの撮影を計画しました。ブナとヒメシヤラの巨木が群生する美しい森林観察をしながら、八丁池を目指して上り御幸歩道をゆっくり進みました。山はまだ春の足音は遠く、倒木や岩に茂った苔の緑がひとときわ輝いて見えました。



① 第14団ベンチャー隊

② 風景写真の撮影

### 静岡第14団ベンチャー隊 大場 隼太郎

3月19日から21日の2泊3日で富士章の課目にある単独キャンプと個人プロジェクトのため、キャンプを河津七滝オートキャンプ場で行い、2日目には天城山に登りました。天城山登山は風景写真の撮影を目的として登りました。道中は苔むした岩や倒木が多かったのでそれらの写真を多く撮りました。頂上には展望台があり、天気の良い日は八丁池が一望できますが、あいにくその日は霧が濃くてその写真を撮ることができませんでした。頂上で昼食をとり、下山するときも登る時と同じように写真を撮り溜めながら降り、計6時間48分の登山でした。季節的にまだ木に葉がついていないのと、花がほとんど咲いていなかったため、撮れた写真は似たようなものが多かったのが悔しくもありましたが、最後まで怪我なく終われてよかったです。



### 静岡第14団ベンチャー隊 小森 聡太郎

このキャンプは、今までのものとは違ってキャンプ地から何から、全て自分たちで決めるというものでした。これまでには、キャンプの計画も場所もやることも決まっていた、それを参考にするだけで良かったけれど、全てのスケジュールを自分達で決めるというのは新鮮で、それ故に失敗もたくさんありました。しかし、僕のプロジェクトの目標であった無線交信は概ね計画通りにでき、事故や怪我もなく無事に終えることが出来ました。

保護者やリーダーの支援があってこそ成功だったので、感謝の心を忘れず日常生活にも活かしていきたいと思えます。



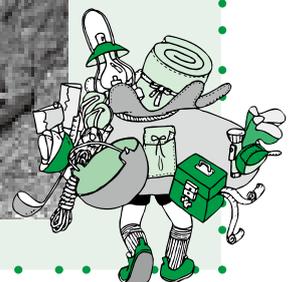
③ 天城峠標識



④ アマチュア無線で交信



⑤ 山道を行きます



総務・広報委員長の松田 茂が各界に幅広く聞くコーナー

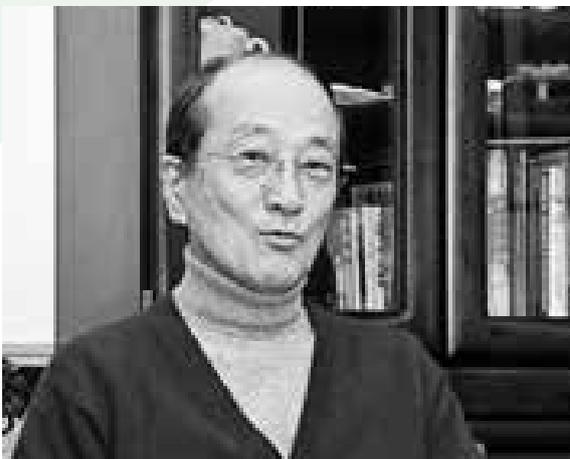
Shigeru

Matsudaの

人物訪問

第2回

昨年7月3日熱海を土石流災害が襲いました。熱海第11团团委員長で、熱海市の自主防災連合会長としてこの大災害で尽力された大山正晃氏を訪問しました。



ボーイスカウト静岡県連盟 総務・広報委員長 松田 茂

松田: 先ず自己紹介とスカウト活動に関わりを持たれた切掛け、そして現在の役務をお話してください。

大山: 東京日本橋の出身です。小学生時代、銀座の中央通りを祭りのパレードで行進するボーイスカウトの姿に憧れていましたが入団しませんでした。15年ほど前に近所に住む育成会長から団委員をやって欲しいと依頼を引き受けたのが切掛けで、昔の夢が叶いました。現在は団委員長の他に町内会長、更に約90の自主防災会をまとめる熱海市自主防災連合会長の任に有ります。これも前任の連合会長からの口説き文句が「大山君はボーイスカウトだから自主防を任せたいんだ！ボーイスカウトの備えで熱海市の防災をやって欲しい」と言われ、これを言われちゃスカウトの名誉にかけて断れないよなと会長就任をお受けした次第です。その後、熱海市消防団長も当団のスカウトOBが着任した

ので熱海市は消防も防災もボーイスカウトが担っている事になりました。

松田: 昨年7月3日の伊豆山土石流災害での災害救助及び救援活動における、大山さん個人の活動内容とボーイスカウト(団あるいは地区)の活動内容をお教え下さい。

大山: 伊豆山土石流災害の時は、消防無線の交信を聞いて大きな災害が隣の町内で発生している事を把握していました。市の危機管理に電話し、避難者の収容場所として第4避難所(熱海中学校)を開設しました。市危機管理は即時に災対本部を立ち上げ、現場では土石流が継続していて2次災害の可能性が高い事から消防団と自主防に対し後方待機を指示したので、我々自主防は避難所での被災者収容に当たりました。同時に陸上自衛隊に対する災害派遣、県内と神奈川県広域消防への救援要請が発出され、その後私には自衛隊や消防、警察車両の待機場所確保が指示され、近隣の世界救世教の各教団やMOA美術館と調整をし救援車両の整理・連絡を行いました。



当団スカウトの支援活動ですが、熱海中学校の生徒であるボーイ隊班長からLINEでボーイ隊として何か手伝いをしたいとの連絡が来ました。被災直後で避難者はかなり気が立っていて少し不安はありましたが、自分の中学校が避難所になっていて校内は良く解っていたので、班長と同級生4-5名が誘い合い手伝いに来てくれました。体育館で使用するパーティションの組立設置、毛布等の運搬、届き始めた救援物資の仕分け、朝食の炊き出し等を手伝ってくれました。翌日夕刻には避難者はバスでホテルに移動となりましたのでその撤収作業も一緒にやってくれました。翌週末には、伊東地区の伊東5団・2団が伊東市内で災害救援募金活動をいち早く行ってきて熱海市に災害義援金として納めて頂きました。また、静岡県連内の各地区からも義援金をお送り頂きました。多くの募金をお寄せ戴いたことにとっても感謝しています。

**松田:** 救助・救援活動をしたなかで、スカウト活動で身に着けた経験やスキル・ネットワークなど役立ったことはありますか？

**大山:** スカウトは中学校の友人たちの中でリーダーシップを発揮して、チームワーク良く作業に当たってくれました。また、炊き出しはアルファ米でしたが、普段の避難訓練でアルファ米でのおにぎり作りに適した水分量が解っていたこと、また避難所に配備されていたプロパンコンロを使い慣れていること等から避難地班員の大人より要領よく活動出来ました。キャンプや野外料理など、家庭生活とは異なる非日常的な経験が避難所で役立つことを実感しました。

**松田:** 実際に救援活動をしてみて、災害に対して「こういうことをもっと備えておけば良かったのに」「これは絶対に必要だ」と特に感じたことは何ですか？

**大山:** この土石流災害は違法「盛り土」が想定を超えた量で推積していた事が原因で、自



熱海第11団 団委員長 大山 正晃 様

助・共助という範囲では如何ともし難い規模の災害でした。救助に当たってくれた関係機関は陸上自衛隊、県下各消防に加え、神奈川・東京消防庁の救難救助専門隊を含む各隊、静岡県警機動隊・神奈川県警・警視庁機動隊や救助犬の支援も加わり、海上からは海上保安庁など通常の「公助」の範囲を大きく超えたスーパー・ハイパー公助でした。今回は地震、津波の様に同時多発的に発生する災害では無く災害が1箇所だった為、救難捜索を公助に委ねる事が出来ましたが、被害が同時多数で発生した場合「共助による救難活動が必要となります。自分たちで出来ることは何か？如何に備えるか？を我が事として日頃から考えておかなければならないと強く感じました。

**松田:** 今後のボーイスカウト活動への課題・期待をお話してください。

**大山:** スカウト技術には、災害時に役立つスキル・知識がたくさんあります。スカウトが身に付けたスキルを発揮して家族や地域の人を助けるのは勿論、かつての「わんぱくサバイバル事業」のように地域のこども達にスカウトスキルを教えて「自助・共助」の輪を広げる。防災と言う視点からも、我々ボーイスカウトが社会に奉仕出来る事がたくさんあり、その重要性・必要性は今後もますます高くなっていくと思っています。

## 熱海第11団にスカウトハウス誕生!

熱海第11団 団委員長 **大山 正晃**

この度、空き家になった隣接する土地家屋を取得したことから芝生広場を作り、更にスカウトハウスとして整備しました。しかも拙宅の温泉配管を分岐してお風呂は温泉です。現在熱海11団はBVS隊が休団状況ですが、小林県コミッショナーからも様々なご提案を頂きながら新年度に向け、新しいアプローチで展開して行きたいと考えています。



←無線機も設置しました



↑ピアノの自動伴奏でスカウトソングが歌えます。



↑熱海の絶景が望めます。

力作ばかりが  
いっぱいだよ!

## MOA美術館『全国児童作品展』

昨年の「ボーイスカウト日本連盟全国大会」はコロナの影響で熱海での開催は残念ながら中止となりましたが、開催会場の一つにMOA美術館がありました。

MOA美術館所蔵の尾形光琳筆「紅白梅図屏風」、野々村仁清作「色絵藤花文茶壺」は、学校の教科書でもよく見かけるのではないのでしょうか。

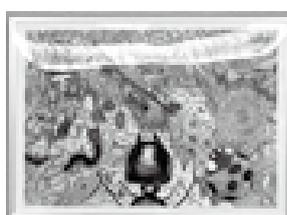
MOA美術館では美術教育にも力を入れており、1989年から小学生を対象とした児童作品展を毎年開催し、毎年約40万点の作品が応募されている日本一大きな作品展です。児童作品展は子どもたちが自然・環境、社会、他者との関わりを通し、興味や関心をもったことを絵画や書写によって表現することで情操を養い、豊かな心を育てることを目的に開催しています。

ボーイスカウト日本連盟では第3回(1991年)より後援しており、第24回(2013年)からはボーイスカウト日本連盟理事長賞(絵画1点、書写1点)が制定され、日本連盟理事長自ら表彰式に訪訪して直接子どもたちに手渡しています。

ビーバースカウトやカブスカウトの活動の中で、習字や絵画に取り組み、木の葉章やチャレンジ章に挑戦しながら応募してみたいかがでしょうか。



↑沼津  
大田理夏さんの作品



↑富山県 横田晴喜さんの作品

MOA美術館 <http://www.moaart.or.jp/>

# 70周年に感謝

磐田第3団ボーイ隊 隊長 熊谷 正和



↑40周年タオルと、下は20.30周年記念です



↑創始者大橋光男様の弟さんのB-P油絵

このたび、我が磐田地区磐田第3団が70周年を迎えることとなりました。

70年間、団を維持し続けることがどんなに難しいか、地区コミッショナーとして業務していく上で嫌でも理解しております。さて私がこの団にお世話になったのは小学1年の冬、父親に連れられて磐田北小の団行事に参加したのが最初です。カブ隊に途中入隊しボーイ隊、シニア隊へ(今のベンチャー隊)と上進、組長、班長も経験。シニア隊高校2年の時に、フィルムント派遣に参加でき貴重な体験をしました。残念ながら一身上の都合でローバーには上進出来ず一時退団となりました。成人し結婚、磐田を離れていましたが子供が生まれて磐田に帰郷、当時の団委員長から誘われ見学に行き二つ返事で長男をビーバー隊に入隊、自分もビーバー副長から再登録、その後カブ隊副長、デンリーダー、ボーイ隊副長、隊長と経験させて頂いています。ビーバーからみていたスカウトが菊章を取得した時はとても嬉しかったです。しかしボーイ隊長を16年間もやってしまい隊長の責務の一つをな

いがしろにしてしまい申し訳ない限りです。隊長になって最初の隊長の話をした時に、あっ自分の居場所だと思ってしまったことがいけなかったと思います。次期隊長を育てるために今後は邁進努力したいと思います。70周年の式典では創始者大橋光男が支援した浜松第1団関係者や自分がBS時代にRS隊長だった村松理事長も来て頂きました。なにより式典会場にボランティアで参加していた私のボーイ時代の隊長も激励や自分で作った信号塔や、ノッティングボードなども展示してくれました。多くの方々に感謝を送ります。



↑BS時代の隊長がノッティングボードを展示



↑磐田市見付、旧赤松家で展示



↑偶然、10年前の菊スカウトの恩師が訪問



いつも元気だっ!  
ビーバーだより

ナイトハイク

清水地区 清水第 17 団ビーバー隊 佐伯 一花

わたしが一番心にのこった活どうは、11月27日にナイトハイクをしたことです。昼間には見られない物がたくさんあって、ふだん通っているのを知っているはずの道でも、夜は人や車が少なく、全ぜん知らない場所のように思えてわくわくしました。クリスマスが近いこともあってイルミネーションもとてもきれいでした。さい後は、ゴールについてから、みんなでカップラーメンを食べました。

今年はコロナで予定していた活どうが中止になることもありましたが、たい長たちのおかげで楽しく活どう出来ました。

わたしは、今回のナイトハイクではたい長についていだけでしたが、カブたいに入ったら自分たちで地図を見ながらもっと長いきよりを歩くのがとても楽しみです。



カブつうしん  
CUB SCOUT

不思議な心

磐田地区 豊田第 1 団カブ隊 菊地 美夏

私は、ボーイスカウトに入っているいろいろなことがありました。三つしょう紹介します。

一つ目は、キャンプしたことです。マシュマロ焼きが楽しかったです。でもこげて少しにがかったです。そして一回ころんでしまったけど血がでなくてきせきでした。

二つ目は、さつまいもほりをしたことです。少し力をいれたらさつまいもがほれてとても楽しかったです。家でさつまいもサラダを作ったらとてもおいしかった

キャンプファイヤー

沼駿地区 沼津第 19 団ビーバー隊 中山 紗江

7月24日にボーイたい、カブたいといっしょにキャンプにいきました。キャンプでは、ゲームをしてあそんだり、森の中をあるいてしゃしんをいっぱいとりました。



夕がたからは、キャンプファイヤーがあり、ビーバーたいでうたったり、ボーイたいのげきにいっしょにさんかしました。

いろんなことができてるのしかったです。わたしもテントにとまりたいとおもいました。

二回目のスケート

浜松地区 浜松第 14 団ビーバー隊 安間 寛汰



ぼくは、1月9日はままつスポーツセンターで、スケートをしました。

さいしょにたい長といっしょにすべりました。でもと中からゆう気を出して一人ですべりました。こおりの上で歩くようにすべりました。

ボーイたいや、カブたいのお兄さんは、スイスイと速くすべっていきました。すごいと思いました。ぼくは、何回もころんだけど、何周もがんばりました。来年は、ぼくはスイーとながれるようにスケートをすべらせませす。

です。

三つ目は、女の子たちがきたことです。いっしょにあそんでくれてとても楽しいです。おりちゃん、とこちゃんとたえちゃんたちとおにごっこをしたりしてとても楽しくあつというまに時間がすぎました。とても楽しくてわくわくしました。でもさいあく男の子グル



ープがいてめちゃくちゃむかつきます。でも女の子がきてとてもよかったです。

## 楽しかったキャンプ

富士宮地区 富士宮第25回カブ隊 平山 和季

僕が、カブスカウトの活動の中で一番心に残っているのは、初めてのキャンプです。

そのキャンプで印象に残っていることが三つあります。

一つ目は、みんなとキャンプファイアーを囲んで遊んだことです。みんなで踊ったり、隊長のお芝居を見てとても楽しかったからです。みんなで歌を歌ったことも印象に残りました。寒い冬でしたがなんだか心がポカポカしました。

二つ目はハイキングです。課題やゲームをクリアしながら進むハイキングでした。その中で一番難しかったのは、何mか先にある木までの距離を当てるゲームです。その木までの歩数と自分の歩幅を調べて計算しないとイケなかったのが難しかったです。

三つめは自分で作った望遠鏡で月を見たことです。最初は自分で手作りしたのでそれほど見えないと思っていましたが、クレーターまではっきり見えてびっくりしました。



僕はこのキャンプで、キャンプの楽しさや仲間と協力する大切さがわかりました。キャンプの前は少し不安だったけれど、隊長や仲間と一緒に楽しくキャンプができて良かったです。

僕はこのキャンプで、キャンプの楽しさや仲間と協力する大切さがわかりました。キャンプの前は少し不安だったけれど、隊長や仲間と一緒に楽しくキャンプができて良かったです。



## 班旗立て

富士地区 富士第8回ボーイ隊 瀧 大和

僕の隊では、12月に班旗立てをやりました。

ルールは、決められた材料で20分間にどれだけ高く班旗を立てられるかを班ごと競うというもので、材料は、2メートルの竹とペグが3本ずつ、3mと6mのロープが3本ずつ、ハンマー1本でした。

どんなやり方でもいいのですが、僕たちは竹と班旗を

一直線になるようにロープで結び、地面と垂直にする方法にしました。

竹は木と違って滑ってうまく結べません。ペグでロープを張って班旗を支えるのですが、張り具合が合わず倒れることもありました。

何度も練習を繰り返し、工夫しました。

竹を動かさずにロープで結んだり、力の強い人が立てたときに下になる箇所を結んで、結びが緩くなって途中で折れることを防いだり、材料を素早く広げられるように置く位置を工夫したりもしました。

途中で疲れてしまう時もありましたが、班員同士で協力するのはとても楽しかったです。

本番で一番いい記録が出た時は達成感がこみ上げてきました。

こういう機会は、ボーイスカウトにしかないもので、入っていてよかったなと思います。



## 小さな団ならではの喜び

三島地区 函南第2回カブ隊 隊長 佐藤 順子

私の属する函南2回カブ隊は現在カブスカウト3名です。とてもとても小さなカブ隊です。もちろん、カブ隊だけではなくボーイ隊もビーバー隊も小さな小さな隊です。では、子供たちが達成できることも小さいの？楽しみも小さいの？喜びも小さいの？いえいえ、全然そうではありません。むしろ私は多いと言いたい。喧嘩や仲間外れなんかしてる場合じゃない。3人で力を合わせないとね。カブ隊はリーダーの数と子供の数が同じ。マンツーマン指導で、結果うさぎさんでもテントも立てれば、ロープワークだって一通りできちゃう。そうなれば秘密基地だって、小さな工作だってどんどんやれちゃう。子供たちは頭の中でアイデアを膨らませて、あれもやろうよ、これも作ろうよ、隊長！きっとできるよ。ボーイス

カウトの人数が減ってゆく中、同じような状況の団はたくさんあり、悩んでいるリーダーも多いと思います。でも一人ひとりの顔が見渡せる小さな輪の中で、子供たちが満面の笑顔で立っている。それが小さな団のすべての答えだと思っています。



# 令和3年度 トレーナー研究集会

2月6日(日)

ディレクター 澤田 浩久

トレーナー研究集会は毎年2月に、日本連盟リーダートレーナー、副リーダートレーナーが参加し指導者訓練に関する研究を深めるために開催されています。本年は静岡会場を含め全国11の会場で対面での実施が予定されておりました。しかし新型コロナウイルスの影響により、急遽2年連続でのオンラインに変更となり、県外からの3名を含め、41名のトレーナーが参加して2月6日に開催されました。

今年は2つのテーマに基づく研究、そしてトレーナーの自己研究発表が行われました。研究についてはグループに分かれて、各テーマに基づきトレーナーとして何をしていかなければならないか、様々な活発な意見を交わし、また自己研究発表では、代表のトレーナーから、1年間で行った自己研究の内容とその成果の発表がありました。

オンラインであったため、各グループでの話し合いや発表でトラブルもありましたが、コロナ禍でのスカウティングを考えると、トレーナーが率先してオンラインでの活動に慣れていかなければなりません。苦手だと言って避けるのではなく、上手に活用していきたいものですね。

御参加いただいたトレーナーの皆様、大変お疲

れさまでした。また、昨年度末をもって定年となった5名の先輩トレーナーの皆様、長い間指導者訓練にご尽力いただき誠にありがとうございました。

三島地区 LT 八巻 知子

2月6日、令和3年度トレーナー研究集会が開催され参加させていただきました。昨年に続いてリモート研修会となりましたが、この研修会になると年度末が近いこと、一年が過ぎるスピードの早さを実感しています。

研究テーマは、トレーナーとして、①指導者訓練の手法について②トレーナー資質の向上につながる研修企画についてグループワークで行ない、定型訓練における研修内容の変更部分を皆で共有し、良き訓練が提供できるよう真剣討議をする中、自分の足りないものや苦手な部分を再発見し、あらためてトレーナーとは…に立ち返る機会をいただきました。

あるコラムで「人はどの時期にあっても学び続けることが大事である」と目にしました。今だからできること、今しかできないことを行動に起こし、トレーナーとしての役割・責務を果たせるよう努力してまいります。

友情章

おめでとう!!16名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、友達がスカウトに入るともらえる章です。

記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

## 令和4年4月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充・広報委員会

氏名	地区	所属	氏名	地区	所属
中野 太惶	伊東	伊東第5団 C S隊	立花 想士	志太	焼津第1団 C S隊
二瓶 美月	伊東	伊東第5団 C S隊	中野 名都	志太	焼津第1団 C S隊
榊原 直輝	伊東	伊東第5団 C S隊	伊藤 慶一	志太	焼津第1団 C S隊
勝又 峻	沼駿	函南第1団 BVS隊	増田 晴士	志太	焼津第1団 C S隊
眞柄 柊一朗	沼駿	函南第1団 BVS隊	吉田 琴乃	志太	焼津第1団 C S隊
平木 亜実	静岡	静岡第22団 C S隊	萬治 詩子	志太	焼津第1団 C S隊
藁科 恵介	志太	焼津第1団 C S隊	石川 七深	志太	焼津第1団 C S隊
今本 海央	志太	焼津第1団 C S隊	榎田 湊	島田	吉田第2団 C S隊



# マスコミコーナー

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された“スカウト活動の記事”を紹介します。



静岡新聞 令和3年12月26日(日) 朝刊に掲載



熱海土砂災害時に避難場所の中学校体育館内で活躍した熱海11団ボーイ隊の大森さんが正月明けの朝日新聞静岡版で紹介されました。彼の行動は『熱海の中学生ラジオDJ土石流を伝える』として静岡第一テレビでも取材を受け、3月6日の「news every.しずおか」で放送されました。



伊豆日日新聞 令和3年12月24日(金) 朝刊に掲載



伊豆日日新聞 令和4年1月12日(金) 朝刊に掲載



静岡新聞 令和4年1月4日(火) 朝刊に掲載

# おしらせコーナー

## 《 定型訓練 》

### ボーイスカウト講習会 静岡第621回 浜松

- 日 時: 令和4年5月15日(日)
- 場 所: 浜松市立青少年の家
- 申込み: 5月1日(日)まで  
浜松地区進歩・指導者養成委員長 必着

### ボーイスカウト講習会 静岡第622回 伊豆

- 日 時: 令和4年6月5日(日)
- 場 所: 伊東市中央公民館
- 申込み: 5月22日(日)まで  
伊豆地区指導者養成委員長 必着

### ボーイスカウト講習会 静岡第623回 富士宮

- 日 時: 令和4年6月5日(日)
- 場 所: 富士宮市咲花区民館
- 申込み: 5月22日(日)まで  
富士宮地区 事務長 必着

### ボーイスカウト講習会 静岡第624回 磐田

- 日 時: 令和4年7月3日(日)
- 場 所: 向笠交流センター
- 申込み: 6月26日(日)まで  
磐田地区指導者養成委員長 必着

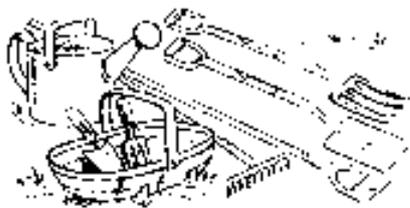
### WB研修所課程別研修 静岡第11回 VS10回

- 日 時: 令和4年5月22日(日)
- 場 所: 静岡県青少年会館
- 申込み: 4月26日(火)まで  
静岡県連盟事務局 必着

## 《 定型外訓練 》

### 第1回県連TT研修会

- 日 時: 令和4年6月19日(日)
- 場 所: 静岡県青少年会館
- 申込み: 5月20日(金)まで  
県連盟事務局 必着



## 日本ボーイスカウト静岡県連盟 総会

- 日 時: 令和4年6月11日(土)
- 場 所: あざれあ

## ボーイスカウトへの お問い合わせ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局

(☎054-255-6185)までご連絡下さい

ホームページ <http://bs-shizuoka.com>

Facebook <https://www.facebook.com/ShizuokaScoutCouncil/>もご覧下さい。

## 編 集 日 記

新年度の活動が始まりました。「たちばな」も前年度以上に充実した内容を目指します。

皆様からのご意見・情報及び取材依頼を県連事務局までお寄せ下さいますようお願い致します。

広報「たちばな」編集部 杉山 文朗

広 報 “たちばな” 2022年4月

発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟  
〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町 1-70-1  
県青少年会館内  
TEL.054-255-6185 FAX.054-255-6186  
<http://bs-shizuoka.com>

編集責任者 総務・広報委員長 松田 茂

印 刷 三富印刷株式会社  
静岡県浜松市東区上新屋町 30-1 TEL.053-467-4678

発行部数 2,820部